

大文行傳

新文昭及

李漢光

光改年不

麻已過春

化治無狂

士時年步

群一人迂

愚何所願

你食哺氏

明決乙矣

歲者方所

西口難

新年歲月昂峰際他日空思今秋

恨福相山中 三天雪照居酌酒

詠年生 二月三日于孫子宅之福相山寫時

私題都郵五年

病床年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

詠梅年餘借折因梅

後事寫法的領書

海一海のうらみ

しつゝいつかあつた

こゝろもあつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

際と細雨

晚外晴

斜倚軒窗

待月吟

新水瀉池

怪談

今宵聲滑

昨宵聲

即事

即事

即事

即事

即事

軟軀身世伴衰殘 任代蹉跎愧抱闌持

御空馳 小窗苔閣心猶對南山風雲漢

輕伸外苑已蒼蒼 天地間並王梅軒

後書史依城下道 思蒼顏 寫信

小兒のうらみ

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた